

前橋監督署からのお知らせ

第8号

2011.12.12 発行



前橋労働基準監督署 前橋市大手町1-1-3 Tel 027-232-3600

平成23年度

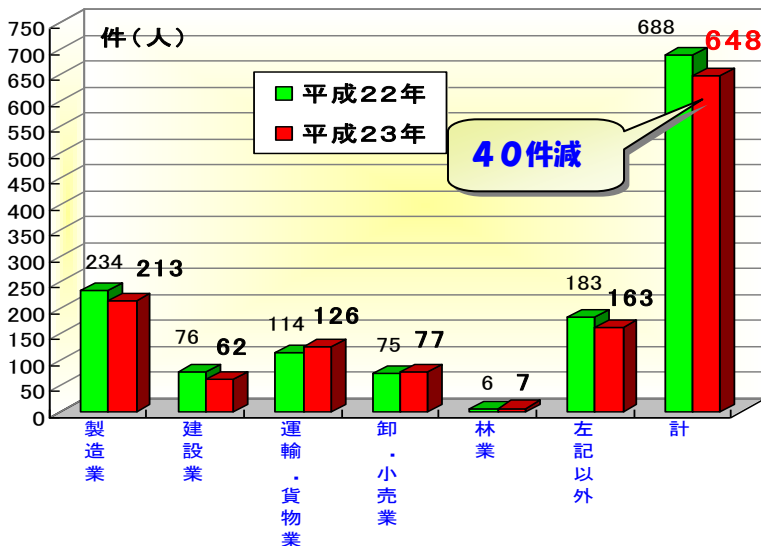
年 末 年 始 無 災 害 運 動

23. 12. 15 ~ 24. 1. 15
声出して
ゆるむ気持ちのネジしめて
年末年始も無災害



昔ほど年末年始の風情は感じられなくなりましたが、それでも何かと気忙しく、あわただしい時期。気持ちを引き締め、無災害で明るい新年を迎えましょう。

平成23年（11月末現在）前橋署管内労働災害発生状況



● 県内全般では依然減少傾向にあり、特に当署では減少傾向が顕著。平成22年同期と比べ40(人)件減の648件(人)に。

● 運輸・貨物業、卸・小売業、林業でやや増加。

● 死亡災害は4件(人)であり、マイナス4(人)件に。

● 死亡災害4件(人)の内訳は、製造業2件(人)、畜産業・林業各1件(人)。

※注…休業4日以上(通勤災害分を除く)で、平成23年11月30日までに当署に提出された労働者死傷病報告を集計(累計)。

特集

機械を止めずに作業していて巻き込まれ、重傷災害発生!

伊勢崎市内の工場内で、綿を加工する機械のローラーに、男性作業員の右腕が巻き込まれ、切断するという災害が発生。

まず止める。それが鉄則。



↑綿加工機の全景（災害発生時はカバーを外し、機械を止めずに作業していた。）



↑通常はすっぽりカバーで覆われている。



●発生状況

11月29日、伊勢崎市内の工場内で男性作業員が、綿加工機の清掃作業をしていたところ、右腕が高速（毎分1,430回転）で回転するローラーに巻き込まれ、搬送先の病院で上腕部から切断しなければならなくなったという災害が発生しました。

●原因等

現在調査中ですが、機械に不具合が生じたため、エアを吹き付けて掃除している際に、スパイク状の突起が無数に付いているローラーに軍手が衣服が巻き込まれたものと考えられます。

●対策等

機械の掃除や点検をする際は、必ず機械を停止させてから行うこと。



エア吹き付け時の様子を再現。このように右腕をのばして作業していたところ巻き込まれた。

●まとめ

付近にいた別の作業員がとっさに電源を切ったため、腕だけ巻き込まれた状態で停止しましたが、少しでも遅れていたら全身が巻き込まれていた可能性もある災害でした。

点検、修理、掃除作業等を機械を止めずに行っていて、毎年、多数の災害が発生しています。「まず止める」、これが非定常作業をする際の鉄則です。

先月の動き

- ❖ 11月24日、前橋総合福祉会館で、前橋市医師会主催による「第29回衛生管理者及び安全衛生推進者との打合せ会」が開催され、当署から「定期健診有所見率の改善」等について説明したほか、企業の事例報告等がありました。
- ❖ 参加者は約100名でした。質疑応答の中で、産業医から「食事直後の健診では、特定の項目で正しい数値が得られない可能性がある」等の問題提起がありました。



↑会場の様子

